

# ANABUKI COMMUNITY PRESS

穴吹コミュニティ情報紙

『アナブキ・コミュニティ・プレス』

2016 9月

編集・発行 / 株式会社 穴吹コミュニティ「アナブキ・コミュニティ・プレス」編集室 〒760-0071 香川県高松市藤塚町1-11-22 穴吹工務店本社ビル7階 ☎0120-365-384(穴吹コンタクトセンター)

第63号

# Vol. 63

CONTENTS

- 巻頭特集インタビュー▷ 農家屋敷宮本家 十二代目当主 大相撲・元幕内力士 剣武 輝希(つるぎだけてるぎ) 宮本 一輝 / 1~3
- マンションバリューアップ 『 / 4
- ときめき野菜～春夏秋冬～ 『かぼちゃ』 / 6
- 編集部おすすめ秋旅プラン 『さいたま秩父・川越』 / 7~10
- 【四季を遊ぶ】 『 / 12
- 自分らしく暮らす部屋づくり 『着こなしを変える』 / 13
- マンションライフのコミュニケーション術 / 14
- 読者の広場 / 15・16
- 読者プレゼント / 15



Miyamoto Kazuteru INTERVIEW

photo : 川岸 滋

相撲と同様、お客さま一組一組を大切に、おもてなしには日々全力を尽くしています。

巻頭インタビュー

農家屋敷宮本家十二代目当主 大相撲・元幕内力士 剣武 輝希(つるぎだけてるぎ)

宮本 一輝

大相撲の力士をしていた経験は、旅館当主の仕事にも活かしています。

宮本さんは現在、埼玉県秩父で『農家屋敷宮本家』という旅館の当主を務められていらっしゃいます。そのお屋敷は200年以上の歴史があるそうですね。宮本さんは何代目当主になれるのでしょうか。

宮本家がここに家を構えて約250年になります。当主としては、私で12代目ですね。旅館をはじめたのは父の代の頃からです。

その昔、旅館でも何でもない農家屋敷だった我が家に、巡礼の人や絹などを運んでいた旅人が一夜の宿に求め訪ねることが多かったそうです。「他にも屋敷がある中で、何故かうちにばかり泊まりに来る」と祖父から聞いた父が「じゃあ旅館にしよう」と始めたのがきっかけだそうです。

**秩父は確か絹織物の銘産地でしたね。**

そうですね。昔から養蚕がとても盛んで「秩父銘仙」と呼ばれる有名な絹織物があります。40年ぐらいい前、旅館を始めた頃にやめました。うちでも別棟の母屋の2階で養蚕をやっていました。ですから、当館の部屋の名前には『桑の間』『絹の間』『繭の間』『とど芽の間』など、養蚕に

ちなんだ名前がついたお部屋もあります。

宮本さんはとても恰幅の良いお姿でいらっしゃるのですが、旅館の当主になる前は、大相撲の力士だったと伺いました。

はい。『剣武 輝希(つるぎだけてるぎ)』というご名で、幕内力士を務めておりました。

**角界はとてつもない世界だと聞いたことがあります。力士時代の話を聞かせください。**

確かに角界は厳しかったです。自分に対しての甘えを絶対許してくれない環境でした。しかし、それを克服しなければ角界での出世、つまり関取への昇進はできないとも感じました。

私は高校、大学の学生時代には相撲部に所属し相撲を取っていました。それがスカウトされて大相撲の力士になり、プロの世界に飛び込んだのですが、やはりアマチュアとプロの差は格段にありましたね。稽古内容の厳しさはもちろんですが、少々体調が悪くても毎日の稽古を休むことは許されませんでした。学生の頃は気分によって「今日は

この辺で切り上げよう」ということもありました。プロはそういう甘えを絶対許されない世界でしたね。

**そこまで徹底しないと、強くなれないからでしょうか。**

それもあります。しかしプロの力士ともなると背負うものがアマとは違うんですよ。それが仕事で生活もかかっていますし、関取に昇進すると後援者や後援会もできます。『郷土力士』という言葉があります。が、やはり地元の方の応援や支援は野球やサッカーの選手に対する以上に熱心ですから。

力士は誰しも「声援してください。方のためにも必ず勝つんだ」という気持ちが強くなります。

**宮本さんの場合は、秩父の方の熱い声援を受けてこられたのでしょうか。**

そうですね。一揃い数百万円もする高価な化粧まわしなど、地元の皆さんがお金を集めて贈呈してくださりました。応援もとても熱くて、私自身「簡単に相撲は辞められない。もっと強くならなくては」という思いが自然に湧いてきましたね。





農家屋敷宮本家 十二代目当主  
大相撲・元幕内力士  
剣武 輝希(つるぎだけてるぎ)

宮本 一輝

Miyamoto Kazuteru

「声援の重み」を肌で感じるわけですね。そして旅館を経営する立場となった今、相撲の世界とはまったく異なる日々だと思えますが、力士時代の経験や苦労は現在の仕事にも活かされているのでしょうか。

仕事の厳しさは相撲も旅館も変わりません。そして、力士時代の経験は精神的なものに活かされています。厳しさに耐えて関取にまでは上がったときの強い気持ちは、この仕事を始めても失うことにはなかつたですね。

だから今の仕事でも、自分や環境に甘えず妥協をしません。日々お客さまお一人お一人に対して、一期一会の気持ちで接しています。もちろん人間ですから疲れる日もありますが、お客さまに対しては「今日はちよつと手を抜こう」という甘えを自分自身に絶対に許さないようにしていますね。相撲と同様、一組一組を大事に、お客さまへのおもてなしには全力を尽くしています。

それともうひとつ、力士時代に出会った方のご縁を大事にしています。大相撲関係者、著名な方が以前と変わらず今も応援してくださいます。力士になつていなければ得られなかつたこのご縁は、私にとつてかけがえのないものです。

お客さまが何を望んでいるのか。それを感じ取って、行動することが大事です。



雰囲気、お料理、おもてなし。そのすべてに心を尽くした旅館でありたい。

宿のこだわりや古民家ならではの特色をお聞かせください。築250年という農家屋敷に造られた『宮本家』には、幕末の頃に建てられた母屋や蔵、五右衛門風呂などの歴史ある雰囲気をもつて、訪れた方はきつと息をのむと思います。

そうですね、旅館の雰囲気、お料理、そして、おもてなしとすべてに心を尽くしています。食事は里山農家料理。食文化や味を体験していただくため、自家製農園のもぎた野菜、清流で育った川魚、元力士当主

の直伝本場ちゃんこ鍋など、地元素材を囲炉裏やかまどで調理するので美味しいですよ。

また、客室にはストリーパーがあり、それぞれの情緒を楽しんでいただけると思います。例えば『当主の間』は総黒檀の茶箆筒など、こだわりの家具調度品が備えられています。贅沢な雰囲気があります。『嫁の間』はちばん狭いのですが、外に露天風呂があったり、壁がピンクや赤で彩られているなど洒落ています。そんな風に昔の農家屋敷を感じさせる物語で、各部屋が彩られています。

素敵ですね。蔵はお洒落なバーになっているそうですね。

その名も『蔵BAR』です(笑)。当館の近隣で取れた果実や木の実など、里山素材を使って造った自家製果実酒が50種類ほどあり、どれも飲んでいただけます。私は仕事の都合で不在になることもありますが、ここに居るときにはこのバーでお客さまをお迎えし、お相手をさせていただきます。

蔵の2階にある、昔ながらのひな人形や屏風などもぜひご覧いただきたいですね。

ホスピタリティ精神に富んだ接客で『埼玉県おもてなし大賞』を受賞。

そんなこだわりのお宿は『埼玉県おもてなし大賞』を受賞されたそうですね。観光に訪れた方に対して優しく丁寧な接客、心温まるおもてなしなどホスピタリティ精神に富んだ対応を実践する企業等に与えられる賞だと聞いています。

はい、おかげさまでいただきました。これまで「お客さまが何を望んでいるのか」を感じ取り、言われる前に行動することを社員一同大事にしてきましたが、そういった点が評価されたのではないかと思います。

例えば、どのようなお気遣いをされたのでしょうか。

できる限りお客さまのご要望をかなえて差し上げたいと思っております。到着の遅いお客さまが夜しか利用できない五右衛門風呂に「朝に

現代人が失いかけて『ふるさと体験』ができる場所。旅館の近くに『秩父ふるさと村』という広大な敷地の施設があります。こちらも関連施設なのですが、

「入りたい」とおっしゃったので、朝5時に来て新でお風呂を沸かしたこともあります。お断りするのは簡単。でも頑張つてやれることなら、お客さまのリクエストに応えたいですね。

また、お客さまとのフレンドリーな関係を保つことも大切にしています。例えば写真撮つていらつしやるお客さまには、こちらから「撮りましょうか」といったお声掛けを必ずしています。

外国の方の写真が館内に飾られていましたが、外国人の訪問客も多いのでしょうか。

そうですね、多くの外国人の方に来て喜んでもらつております。日本の井戸、囲炉裏など農家屋敷の風景はいまや日本の若い人たちにも新鮮に映ると思いますが、外国

開設しました。山を含めて大体10万平方メートルくらいの敷地で、東京ドーム2つ分ぐらいの広さです。





**(みやもと かずてる)**

昭和54年、埼玉県秩父郡小鹿野町で温泉旅館「宮本家」を運営する一家の長男として生まれる。埼玉県立秩父農工高等学校から日本体育大学を経て角界入り。日体大を卒業しての角界入りは史上初めて。平成13年3月、日本体育大学卒・武蔵川部屋入門。同年の5月場所でデビューし、序ノ口優勝を果たす。平成22年11月、十両昇進。平成23年11月、幕内昇進。平成24年に相撲引退。同年8月に両国国技館で断髪式をおこなう。現在、「宮本荘グループ」を運営。宮本家十二代当主。

**秩父西谷津温泉旅館 宮本荘グループ**

〒368-0102 埼玉県秩父郡小鹿野町長留510  
TEL.0494-75-4060 FAX.0494-75-0300  
受付時間/ 9:00~22:00(FAXは24時間受付)/年中無休

- 宮本家ホームページ <http://www.miyamotoke.jp>
- 秩父ふるさと村ホームページ <http://www.chichibufurusatomura.co.jp/>
- 宮本の湯ホームページ <http://www.miyamotonoyu.jp>



ここでは豊かな緑と美しい川に囲まれた秩父の大自然の中で、思いっきりアウトドア体験を楽しんでいただけます。『農家屋敷のそば打ち』『野菜収穫』など、ファミリーやカップル向けの各種『ふるさと体験』もご用意しています。

**この夏、日本文化と秩父の魅力発信のため『J・POPサミット』に初参加。**

今年の夏はサンフランシスコでおこなわれる『J・POPサミット』という、日本のポップカルチャーの見本市と呼ばれる大きなイベントにご参加されるそうです。

日本文化と秩父の魅力を発信し、観光誘客を図るために頑張りたいと思います。

私は元力士ですから、大相撲の魅力をプッシュしてきたいですね。小錦さんや武蔵川部屋の親方の武蔵丸さんなどはアメリカでもメジャーな人気なので、相撲に興味を持つている方は多いんですよ。だから、お相撲さんの着物を着ることができたり、ちゃんこが食べられる楽しい体験を現地の方に届けたい

**ふるさと村をテーマパークに負けない施設へ成長させたい。**

伺いたい話は尽きないのですが、最後に今後の仕事の目標や夢をお聞かせいただけますか。

夢はたくさんあります。その中でトップに挙げるとするならば、ふるさと村と旅館の充実でしょうか。もっと多くの方に知っていただけて、秩父観光のゴールデンルートの目玉になるように発展させていきたいですね。

私たちのふるさと体験型施設は、乗り物アトラクションが中心の人気のテーマパークにも楽しさでは

育の場として利用されることも多いです。

**子どもたちの反応はいかがですか。**

どの体験もすごく喜ぶですね。さらに施設内に川が流れているので、夏には川遊びもできるんですよ。

長瀬の方はライン下りができるほど深いのですが、こちらは上流なので深いところでも水深は1メートル

考えています。

欧米の方は、日本人と比べても文化体験を好みますし、相撲もお好きです。ですから人気になると思います。

そうなるとうれしいですね。イベ

**宮本さん、日本の魅力を大プッシュ!! J-POP SUMMITは大盛況**



2016年7月、サンフランシスコで行われた『J-POP SUMMIT』に、現役力士時代の化粧まわしをつけて登場した宮本さん。ステージで相撲体験を披露したのははじめ、秩父がブースでは小鹿野歌舞伎体験、秩父エリアの観光パンフレットの配布など精力的に活動されました。そして、日本や秩父、大相撲の魅力を伝えて大盛況のうちに終了したそうです。

- 【Japankuru】<http://japankuru.com/>
- 【Japankuru Facebook】<http://www.facebook.com/Japankuru>
- 【Global daily】<http://www.gldaily.com/>

※今回のインタビュー取材は、6月10日におこなわれました。J・POPサミット参加の成果については、左記をご覧ください。

トル程度と浅いので危険も少なく、安心して遊べます。また川は、ふるさと村の中にあるのでいつでも貸し切り状態というのも喜ばれていますね。

きっと負けていないと思うんです。

今では貴重な本物のふるさと体験ができる施設は、とても素敵だと思います。

もちろん、テーマパークに行くのも楽しいと思いますが、宮本家やふるさと村なら、日本が受け継いできた風景や風習、味わいや遊びに直に触れたり、体験したりすることで人々の心に残るものになると思うんですよ。

その夢、きつかなえてください。私たちが微力ですが応援してまいります。本日はお忙しい中、有意義かつ楽しいお話の数々、本当にありがとうございました。

最近では体験型の方の観光施設は、外国の方にも人気だと聞いています。そうだと思います。ですから外国の方にも来ていただくための準備をもっと拡充して「日本ならではの体験」にここで出会って、自分の国に帰って欲しいですね